

- 1 開会
- 2 学校運営協議会委員委嘱状交付
→新規委員の平野委員へ教育長から交付
- 3 荒尾市教育長あいさつ

4 議事

(1) 委員・事務局紹介

①お名前 ②所属 ③万田小の子供に期待したいこと等一言

| 所属 | 氏名 | 一言 |
|-------------|-------|---|
| 万田地区協議会 | 中村 光成 | 駅前のマルシェや防災キャンプなどをNPOで行っている。今年は子供たちとも一緒に取り組んでいきたい |
| 万田中央地区協議会 | 田中 一大 | 元気・健康・明るさが伸びている。若いうちは年寄り過ごし、年を取ったら若い者と過ごすといい。 |
| 万田中央地区協議会 | 渡辺 義専 | “まん中の会”など地域の活動と連携をしていきたい。 |
| 万田中央地区協議会 | 森崎 信之 | クリーン大作戦など楽しくさせてもらった。いいことはほめ、ダメなことは叱っていきたい。 |
| 保護者 | 岩村 一彦 | P T Aとして、子供だけでなく万田小のためにできることを考えていきたい。 |
| 保護者 | 與田 知成 | P T A会長として、今後は地域との連携が必要。家庭の多様性も踏まえてP T Aの改革を進めていきたい。 |
| 地域学校協働活動推進員 | 田添美奈子 | 本年度荒尾市は推進員が増加した。地域の力を生かした万田小の取組を県内にも広げていきたい。 |
| 地域学校協働活動推進員 | 平野 陽子 | 本年度から地域学校協働活動推進員になったが、保護者としても本校のために取り組んでいきたい。 |
| 少年指導員 | 平川みどり | 自由登校になったが、登校指導を引き続き行っていく。あいさつもしっかりやっていきたい。 |
| 民生委員 | 池田佳寿子 | 学校の状況がよくわかるようになってきた。子ども会組織に入らない家庭も増えている。チャットG P Tなども話題だが、子供に何が大切なのか考えていきたい。 |
| 主任児童委員 | 竹中 正美 | 昨年は運動会のスローガンどおり、子供たちの動きに感心した。子供たちを見る目は厳しくしていきたい。 |
| 学識経験者 | 寺田 哲也 | 地域組織が消滅している。万田小の取組を進めていきたい。 |
| 本校校長 | 北岡 誉久 | 3年目となった。「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」を目指している。グランドデザインにあるように、職員も子供も学校運営協議会も共通していることは“当事者意識”である。委員の皆様も学校運営を担う権限と責任をもって、未来を担う人材が育つよう、ともに取り組んでいただきたい。 |

※山地委員（保護者）、谷口委員（学識経験者）は所用のため欠席

事務局紹介 事務局長（吉田幸司郎教頭）

事務局（成瀬教諭、赤星教諭、若松教諭、山本教諭、末川教諭）

(2) 令和5年度の取組と方向性、年間計画、11月の研究発表会の概要

- ① グランドデザイン（学校教育目標等の再確認）
- ② 本年度の経営方針の説明
- ③ 11月22日（水）には、市教委指定の研究発表会を行う
今回は、学校運営協議会も公開で行う予定
児童会リーダーとの熟議の様子を参観者に公開する予定

(3) 質疑

<森崎委員> 子供たちの体力向上についてどのような取組を考えているのか？

- ・ 体育の授業で運動量を考慮した取組を全学級で行うようにしている。
- ・ スポーツテストの結果を基に取組を考えていく。
- ・ イベント委員会の企画として、委員会主導で朝からのランニングを考えている。

<平川委員> 土曜授業の振り替えについて、保護者の困り感があると聞く。

※平日に子供だけとなってしまう家庭もあり、平日を休みにするぐらいなら土曜日に授業を行わない方がいいという声も聞く

- ・ 本年度から荒尾市全体で振り替えなしの土曜授業がなくなった。行事等を行う土曜授業は残しているが、その分の振替休業日を設定している。平日に職員の振り替えができず、夏休みに取っていたが、やはり疲弊してしまうため。

→荒尾市でアンケートを取った結果ではあるが、これらのご意見は教育委員会にも伝えていく。

(4) 連絡事項について

- ・ 運動会当日の自家用車等誘導依頼

→万田地区及び万田中央地区の少年指導員で今回も対応していく。

- ・ 5月27（土）の運動会の案内を後日送付するので、参観願います。

- ・ 第2回学校運営協議会は、計画案にあるとおり昼間の開催を考えている。児童会リーダーとの熟議も行います。

→20日（火）に開催を決定…後日正式に案内を送付します。

- ・ 机上有る名札は、1年間使用します。来校する際は着用をお願いします。

6 閉会